

令和 6 年度 事業 報告

1 事業 総 括

(1) 概要

本年度は青谷かみじち史跡公園においては開園 1 年目であり、新規施設の運営体制構築とイベントやサービスの企画開発、事業の実施に取り組んだ。その他の 8 施設においては新たな指定管理期間の初年度であり、計画した事業の着実な実施に取り組んだ。

鳥取県においては、令和 1 1 年度の指定管理者一斉更新に向けた指定管理者制度の見直しの検討が始まった。鳥取県における施設の必要性の再認識及び設置目的の一層の実現が求められており、これまでに得た指定管理者制度に係る知見を活用し、鳥取県の所管課と緊密に連携して迅速な課題解決に努めていくとともに、次期以降を見据えた指定管理業務の改善を進めることが重要である。

集客に関しては、県内発着台湾定期便の新規就航に向けて行われた現地を含む商談会に参加し、運営施設への誘客に取り組んだ。今後も需要が見込まれるインバウンドの誘客を周辺施設とも連携して行い、集客増につなげていきたい。

各施設の連携に関しては、経営本部会議を毎月開催し、収支や利用状況の把握と分析を行うとともに、指定管理業務に係る情報と対応方針を共有し、サービス及び施設の効用の向上、経営改善に取り組んだ。総務調整会議、集客担当者会議などを通じて、各施設の横のつながりを図りながら、各分野の情報共有と課題解決を図った。

指定管理料の人件費に係る増額措置を受けて処遇改善に取り組み、全職種の給料賃金のベースアップ、スタッフ等の勤続年数による賃金加算制度の導入を実施したほか、賞与の増額及び決算見込みの状況を踏まえた特別賞与の支給を実施した。今後も、人材確保と職員の定着のため、処遇及び労働環境の改善に取り組んでいくことが必要である。人材不足によりマンパワーが減退しないよう、職員がいきいきと働ける魅力ある職場環境の整備に継続して取り組みたい。

(2) 受託施設の利用状況

こどもの国や響の森、臨海公園では、遊具や設備の充実、改善が利用者増につながった。かっこ館では、イベントや無料サービスの充実に加え、クラウドファンディングや SNS による情報発信とそれに伴うメディアへの露出が誘客に奏功した。春あるいは夏の大型イベントの影響が大きい燕趙園と夢みなとタワーは、イベントの成功が最終的な利用者数にも反映される形となった。梨記念館は、特に梨の収穫時期に観光需要の増加傾向が顕著に表れたことと、外国人旅行者が回復傾向にあり利用者が増加した。一方、花回廊は、25 周年事業やメディアと共催した花火大会が集客に効果があったものの、夏の酷暑、イルミネーション開催期間の天候不順、冬の寒波など悪天候の影響も受けて減少した。

全施設の利用者数は 1,310,886 人で、前年度との比較で 101.8% (前年度末に開園した青谷かみじち史跡公園を含めない場合は 100.5%。いずれも燕趙園は無料利用者を含まない。) 目標に対しては 99.9% となった。

(総利用者数)

施設名	令和 6 年度		令和 5 年度実績	達成率	前年対比
	目標 (人) A	実績 (人) B	C	B/A	B/C
鳥取砂丘こどもの国	166,000	190,271	181,911	114.6%	104.6%
とっとり賀露かっこ館	230,000	241,681	190,895	105.1%	126.6%
青谷かみじち史跡公園	15,000	19,217	3,036	128.1%	633.0%
氷ノ山自然ふれあい館	47,500	38,174	36,802	80.4%	103.7%
東郷湖羽合臨海公園	229,000	230,422	306,528	100.6%	75.2%
中国庭園燕趙園	70,000	67,629	61,147	96.6%	110.6%
鳥取二十世紀梨記念館	130,000	142,635	127,650	109.7%	111.7%
夢みなとタワー	110,000	135,050	122,398	122.8%	110.3%
とっとり花回廊	315,000	245,807	257,942	78.0%	95.3%
合 計	1,312,500	1,310,886	1,288,309	99.9%	101.8%

青谷かみじち史跡公園は、令和 6 年 3 月 24 日開園

青谷かみじち史跡公園を含まない前年対比は 100.5%

東郷湖羽合臨海公園は、管理区域が減少 (長和田地区、日本海エリア)

中国庭園燕趙園は、管理区域が増加 (長和田地区)、実績は有料入園者のみ計上

(3) 収支状況

最終予算額との対比

正味財産増減額は、2 月補正予算編成時に 1 4 , 8 7 7 千円程度の黒字を見込んでいたが、更に黒字が拡大し、最終的な黒字額は 5 2 , 9 3 8 千円となった。見込んでいた最終決算額とは 3 8 , 0 6 2 千円の差額が生じた。

令和 5 年度決算額との対比

収入は全体で 2 0 6 , 8 3 4 千円の増加、支出は全体で 1 4 3 , 4 6 0 千円増加した。収入増の主な要因は、処遇改善及び燃料・光熱費に係る指定管理料の増額、利用料の増額改定、梨記念館の売店・喫茶の好調な売上が挙げられる。支出増の主な要因は、青谷かみじち史跡公園が加わったことによる事業費増、ベースアップ等処遇改善による人件費の増、梨記念館の売上増に伴う材料費の増が挙げられる。

正味財産増減額については、昨年度は 2 3 , 8 5 9 千円の赤字であったが、7 6 , 7 9 8 千円増加し、5 2 , 9 3 8 千円の黒字となった。

(決算総括表)

(単位 : 千円)

区分	科目	当初予算	最終見込	R 6 決算	R 5 決算	対最終	対前年
			A	B	C	B - A	B - C
収入	受託収入	1,292,502	1,292,334	1,293,048	1,108,235	714	184,813
	事業収入	745,842	684,535	680,768	653,770	3,767	26,998
	その他収入	3,579	6,164	6,431	11,408	267	4,977
	計	2,041,923	1,983,033	1,980,246	1,773,413	2,786	206,834
支出	管理費	1,581,473	1,532,187	1,510,185	1,395,545	22,002	114,640
	事業費	460,450	436,668	417,823	389,003	18,845	28,820
	計	2,041,923	1,968,855	1,928,008	1,784,548	40,847	143,460
経常増減額		0	968	968	1,658	0	690
経常外増減額		0	269	268	14,382	1	14,114
正味財産増減額		0	14,877	52,938	23,859	38,062	76,798

(注 : 端数処理により合計と内訳の計は必ずしも一致しない)

2 鳥取県からの指定管理者受託業務

(1) 受託施設

- ア．鳥取県立鳥取砂丘こどもの国
- イ．鳥取県立とっとり賀露かにっこ館
- ウ．青谷かみじち史跡公園（㈱チュウブとの共同運営）
- エ．鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館
- オ．鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（藤津地区、浅津地区及び南谷地区）
（㈱チュウブとの共同運営）
- カ．鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区及び長和田地区）
- キ．鳥取県立鳥取二十世紀梨記念館
- ク．鳥取県立夢みなとタワー
- ケ．鳥取県立とっとり花回廊（（一社）鳥取県造園建設業協会とのコンソーシアム）

(2) 受託業務

- ア．受託施設に係る利用・集客促進に関すること
- イ．受託施設の維持管理に関すること
- ウ．受託施設の料金等の徴収に関すること
- エ．受託施設の利用者等に対する供用上の指導等に関すること
- オ．その他、受託施設に付帯する事務に関すること

令和6年度事業実績報告書
【鳥取砂丘こどもの国】

1 事業概要

(主な取り組み) 1 サービス向上に向けた取り組み レストランメニューを改善し、地元食材を利用したメニューの増加、離乳食、低アレルギーメニューなど利用者の多様なニーズに応えるメニューを提供 抽選で景品のもらえるWEBアンケートを実施。タブレットを活用した対面アンケートも実施し利用状況や要望の把握に努めた。 近隣造園業者より寄贈された動物の形にトビアリーを設置し、フォトスポット等として楽しめるゾーンを設置 2 利用促進に向けた取り組み 年間に取り組む今期重点事業を設定し、話題づくりによる認知度向上、リピーターの継続利用を促進 (1)宇宙体験、ロボットプログラミングによる科学技術教室の実施 (2)森林乗馬トレッキングコースの設置及びアニマルセラピー体験の実施 (3)自然観察ゾーンの設置(野鳥・昆虫観察・ピクトブ) SNSで園内の様子やイベント開催状況を発信したほかインスタ広告を掲出。鳥取県等と連携しレールトレンサンド号オープンに合わせチラシ、HP、有料広告等による積極的な告知 友の会入会促進キャンペーンとして会員に園内で使用できるクーポンを進呈 3 地域、団体等との連携 隣接するヤマト鳥取砂丘ステーションとの連携を推進 鳥取大砂丘観光協会、大人の遠足実行委員会、砂丘ハロウィンプロジェクト等での事業連携や砂丘清掃をTEAS目標に設定し活動参加 4 施設の安全管理 新設されたふわふわドームの安全な利用のため、看板設置のほか自動音声、遠隔カメラを設置 のりもの広場内の混雑緩和のため、各遊具の利用時間の再設定、動線確保のための改修遊具、施設の老朽化が進む中、年間計画を立て修繕を実施	(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針) 1 サービス向上に向けた取り組み 地元レストラン運営事業者が経営し、食材に鳥取和牛、大山鶏などを使用し、メニューの種類も豊富になったことから、利用者からは概ね好評を得ている。 WEBはスマートフォンから回答でき、詳細な意見が増えたため、きめ細やかなサービス提供に活かしていく。対面では認知媒体の把握をテーマとし、クロス集計できる設問としたため、今後分析を進め広報活動に活用する。 園遠足のクイズラリーのスポットとして活用された他、トリックアートの写真を撮って楽しんでいただいている。 2 利用促進に向けた取り組み それぞれ複数項目で構成された事業であるため、7年度以降も継続実施し、話題づくり、新たな魅力作りに努めていく。 (1)春休み～今年度GW期間にJAXA職員の講演会、展示会、VR宇宙体験など開催。マスコミ取材も多く好評。 (2)森林乗馬トレッキングコースを整備し試行したが好評であり継続していく。7年度に福祉施設等と連携してアニマルセラピーを実施予定。 (3)候補地での自然観察イベント等を実施し好評。整備区域の詳細設定とカブトムシが発生する木くずを搬入。SNS発信により迅速な情報提供ができた。インスタを中心にフォロー数も増加。 クーポン配布の効果があり、友の会会員数の増加につながったほか、工房やのりもの広場での園内消費のきっかけ作りとなっていた。会員増、クーポン利用のため全体的に客単価が減少する傾向となったことが課題。 3 地域、団体等との連携 ヤマト鳥取砂丘ステーション・ゲストハウスでの入園券販売のほか、キャンプ場を利用したデイキャンプイベント開催、駐車場の相互利用などで幅広く連携した。 砂丘地域への学校団体等の誘客、一般客の周遊を促進、地域活性化のため積極的な活動参加を継続していく。 4 施設の安全管理 設置当初は、対象年齢外児童による危険な使用、密集の苦情が聞かれたが、常時稼働する自動音声システムでの呼びかけや、遠隔監視カメラの確認による職員の迅速な対応によりルールを周知でき安全な利用につながった。 チェーンボールの設置等で列整理と動線を確保し、広場内の安全な移動ができた。 遊具の修繕等を随時実施し保全に努めた。今後点検業者、県と緊密に連携し計画的な修繕、更新を実施。
--	---

2 入園者一覽表(年間計画、実績)

[illegible]

【 とっとり賀露かにっこ館 】

(主な取り組み)

(主な取り組み)

R5年度、実施のクラウドファンディングで集めた資金を元に、新たに体験用水槽を納入設置した。
従来は期間限定で開催していた水槽探索クイズを常設化し、いつ来ても楽しめるサービスとして拡充した(およそ月1回のペースで問題を変更。)
従来の設置アンケートに加えて、職員による対面アンケートと のクイズでもアンケートを実施し、より細かい利用状況やニーズの把握に努めた。

かになっこ館および鳥取市賀露町で撮影した写真を募集する「Instagramかになっこフォトコンテスト」を開催し、Instagram利用者等に施設や地域の魅力を発信した。また、「四季の県魚大喜利コンテスト」をXで開催し県産魚のPRとかになっこ館の認知向上に努めた。

水族館を舞台にした人気フリーホラーゲーム「アクアリウムは踊らない」とのコラボ企画として、コラボイラストの掲示や売店でグッズの販売を行い、主にXでの投稿を通して新たな利用者層へかになっこ館をPRした。

SNSを活用して生き物の動画等を継続的に配信しフォロワー等の増加に繋げた。

(Xフォロワーは昨年の164%)

夏季及び冬季に夜間開館を実施し、利用者増を図った。

鳥取環境大学の授業「鳥取グリーンベンチャー」の教育指導施設として、飼育展示やイベント運営について学生への指導に当たった。

2回かたにっこマルシェを開催。ワークショップの出店やゲームコーナーの他、県産魚PR推進協議会との共催で「かにっこ試食まつり」を開催しエビ汁の試食PRを行い、来場者へ鳥取県の豊かな海産物の魅力を発信した。

初の試みで「カニのトークセッション」を実施。飼育担当職員とカニの販売を担当しているJF鳥取県漁協の職員がカニのプロとして生物としての魅力や食材としての楽しみ方を来場者に紹介した。

水槽探索クイズは利用者から好評で今後も実施してゆく。また同時実施のアンケートでは、利用者の細かな居住地がわかるのでチラシ配布計画に活用している。

のアンケートと併せて細かな利用状況やニーズの把握は出来ているが十分に活用できているとは言い難いため今後はアンケートの分析を十分に行ってゆく。

Xについて、フォロワーは伸びたが、Instagramは伸びが小さい。Instagramは地元利用者が多い為、今後は県外のフォロワーを増やす方が必要。

入館者の増に貢献した。また、グッズの販売も売行きがよく、ぬいぐるみくじの販売が減る中、売上にも貢献している。ただし転売が見受けられるのでフリマサイトに対し販売差止め依頼など転売対策も必要。

SNSによる動画配信等が注目されており、中には520万回表示された投稿もあった。注目された投稿は全国ネット情報番組でも取り上げられるなど、大きな反響に繋がった。館内アンケートの結果から来館につながっていると推測されることから継続しつつ、今後はSNSイベント等も実施しさらなるフォロワーの獲得を目指す。

夏の2日間は443人、冬の2日間は56人となった。夏はますますの賑わいを見せたが、冬は暗くなるのも早く寂しい館内となった。R7年度は夏の日数を増やし、冬を減らし入館者の増加を目指す。

施設として直接的なメリットは少ないが、観光事業団としてのリクルート活動のため引き続き行っていく。

恒例のマルシェに加えて、試食まつりを開催。無料で食べられることからマルシェと併せてにぎわった。マルシェの利用者にも好評で出店者からSNSの投稿もあることから、かにっこ館のPRにつながっている。

傍聴者は約25人と多くはなかったが、ズワイガニとオオズワイガニの食べ比べが出来ることもあって、熱心に耳を傾けていた。施設として直接的なメリットは少ないが、漁業関係者との共同イベントで関係者にも評判がよく、水産振興のために実施を継続したい。

(单位:人)

[illegible]

令和6年事業実績報告書

【 青谷かみじち史跡公園 】

1 事業概要

(主な取り組み) (1)とっとり弥生の王国発展に寄与 鳥取県、むきばんだ史跡公園との連携を強化し、イベント、学習体験企画、誘致事業等のあらゆる分野で取り組みを進める。 (2)史跡を活かした地域振興 共同事業体のネットワークを生かし、誘客を図る。青谷周辺、県内外の広域な文化・観光施設等と連携・協力し地域振興につながる取り組みを推進する。 (3)情報発信事業 WEBサイトやSNS等のメディアの運用を通じ、それぞれを融合させ、信頼性、信用を確立し、評判(レピュテーション)を高める。WEBサイトのアクセス解析と流入分析による改良、グーグルビジネスプロフィールや各種SNSとの相互関係を最適化することで、広報におけるPDCAサイクルを確立する。 (4)活用推進事業 弥生文化を体験できるテーマやニーズに沿ったメニューを提供する。自然環境を生かし、園内で収穫した植物を使っての弥生体験メニューを実施し、「リアル」なモノづくりや、弥生時代のなりわいを感じられる企画の開発に取り組む。 (5)維持管理業務の一部内製化 日常清掃、定期清掃、簡易な設備保守等を内製化することにより、社会情勢の変化へ柔軟に対応できるマルチタスクな組織体制を構築する。さらに文化財への虫菌害のリスク低減や床WAX等から発生するアウトガスに対するリスク管理を自組織内で行える体制を構築することで、指定管理者としての強みを強化する。	(主な取り組みに対する結果等) (1)とっとり弥生の王国発展に寄与 鳥取県及びむきばんだ史跡公園と連携して、イベント出展を中心に連携を行った。むきばんだ史跡公園と「定例協議」や「共同看板の設置」など2園連携を強化した。令和7年度には、共同広告出稿(まっぶる鳥取)、三朝情報ファイル等の取り組みを実施する。また、「とっとり弥生の王国」のポータルサイトの制作を県に提案している。 (2)史跡を活かした地域振興 教育旅行誘致、大手旅行会社テーマ型ツアーの設定・催行の実績を残せた。また、公民館・老人クラブなど一般団体の見学が増加し、青谷和紙工房への立ち寄りが組まれるなど地域振興の一助となった。令和7年度はヒーローショー、ロゲイニングイベント、新酒披露会等ユニークベニューに取り組む。また、公園内の「弥生のはたけ」や駐車場、沿道等のアダプトプログラムについて、鳥取市地域振興課や地元企業である愛ファクトリーと連携して実施する。 (3)情報発信事業 各種SNSの運用とgoogleビジネスプロフィールの本格運用スタート。クチコミ評価4.2を獲得(クチコミ数67)投稿者全件への返信を実施。Instagram、LINE、YOUTUBEへの取り組みが不足しており、次年度に課題を残す。令和7年度早々に公式LINE登録完了、instagram運用スタート、YOUTUBE掲載動画完成したので今後取組を進める。 (4)活用推進事業 屋内体験メニューは、類似施設と比較しても一定のめどがついた。屋外での史跡公園の環境を生かしたメニュー開発が課題である。令和7年度に炊飯+弥生料理のランチイベントを開催。夏休みから秋に向けて史跡公園内を活用したイベントを実施する。 (5)維持管理業務の一部内製化 日常清掃を中心に、屋内での維持管理業務は内製化完了。空気環境測定やIPM管理への取り組みを加速させる必要がある。令和7年度早々に、所内(県+JV)でIPM検討会を立ち上げ、マニュアル整備と研修を実施する。
---	---

2 入園者一覽表(年間計画、実績)

(單位:人)

[illegible]

【氷ノ山自然ふれあい館】

(主な取り組み)

1 自然体験プログラム等の充実

- ## 2 利用促進に向けた取り組み

3 地域、団体等との連携

実行委員会の事務局として「わかさ氷ノ山・山フェス」の開催に取り組んだ。

4 環境に配慮した事業活動への取り組み

5 施設の安全管理

イベント、施設管理等マニュアルによる安全管理。館内を点検し修繕や所管課への報告

(主な取組に対する結果の評価及び課題と対応方針)

1 自然体験プログラム等の充実

- ## 2 利用促進に向けた取り組み

3 地域、団体等との連携

4 環境に配慮した事業活動への取り組み

5 施設の安全管理

安心してイベント等を楽しんで頂く。小修繕は職員で行って修繕必要箇所や危険箇所を把握。

(单位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度目標(人) A	3,500	9,500	5,000	4,900	6,400	3,500	8,600	3,500	500	750	750	600	47,500
令和6年度実績(人) B	1,720	4,206	2,428	4,184	5,766	5,168	4,615	5,188	1,468	1,656	941	834	38,174
対目標比率(%) C=B/A	49.1%	44.3%	48.6%	85.4%	90.1%	147.7%	53.7%	148.2%	293.6%	220.8%	125.5%	139.0%	80.4%
令和5年度実績(人) D	2,022	7,195	4,687	3,382	4,314	2,647	6,102	3,002	368	651	1,200	1,232	36,802
対5年度比率(%) E=B/D	85.1%	58.5%	51.8%	123.7%	133.7%	195.2%	75.6%	172.8%	398.9%	254.4%	78.4%	67.7%	103.7%

利用者の推移、増減要因

- (1)利用者増の時期及びその要因
・7、8月…猛暑による避暑地としての入館者増。9月…小学校の宿泊研修利用時期の違い(9月:増/10月:減)
11～1月…段ボール遊具の設置による利用者の増。
- (2)利用者減の時期及びその要因
・5、6月…GWのイベント内容のマンネリ化?による減。小中学校の宿泊研修利用の減。
10月…山フェスでの入館者の減及び小学校の宿泊研修利用時期の違い(9月:増/10月:減)

令和6年度事業実績報告書

【 東郷湖羽合臨海公園 】

1 事業概要

(主な取り組み)

1 スポーツレクリエーション施設の機能向上

スポーツセンターのトレーニングルームを充実させ、女性や高齢者のライトユーザーを呼び込み、リピーターとして定着させるため、内装の改善や、器具の充実を行なう。また体育館の暑さ対策等、スポーツ施設としての機能・快適性の向上を行う。

2 ウォーキングの拡充

ウォーキングイベントを充実させ、公園及び周辺地域を多くの方に楽しんでもらうきっかけづくりを行なう。NPO未来と連携して実施することで、県のウォーキングリゾートの一層の推進に寄与する。

3 アクティビティの提供

東郷池でのカヌー・サップの体験等、体験アクティビティのメニュー提供、開発を行なう。

4 公園の魅力充実

株式会社チュウブと共同企業体として連携し、日常の公園管理をはじめ、公園づくり事業の推進により、公園の魅力向上に資する。

5 公園を通じた地域交流・地域活性の促進

地元・湯梨浜町をはじめとした周辺市町、団体との連携を深め、公園を利用した事業、イベントの開催に協力し、地元の活性化に貢献する。

憩いの多目的スペース整備

体力測定広場の老朽化した器具を撤去したことによりできたスペースを活用して休憩できるスペースを整備。→ R6整備予定だったが、南谷地区の再整備計画策定により中止、他の整備を検討

(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)

1 スポーツレクリエーション施設の機能向上

スポーツセンターのトレーニングルームの内装の改修、器具の更新、リースによる新規器具の導入を実施。併せて使用料金の値上げ(150円→200円)を行った。結果、シニア層、女性を中心に利用者が増加(対前年122%)し、使用料収入も1,007千円増加(対前年139%)。また体育館の暑さ対策として網戸の設置による通気性の改善、喫工事による体育館ウチトイレの洋式化、夢広場の鳥害対策を実施し、スポーツレクリエーション施設としての機能充実、快適性の向上に努めた。

2 ウォーキングの拡充

例年実施している健康散策ウォーキングに加え、燕趙園との共同実施による「湯と花ウォーク」「早朝蓮ウォーク」を実施。またドッグランを利用して犬を連れて歩く「わんわんウォーク」を実施し、ウォーキングの裾野拡大を図った。

3 アクティビティの提供

東郷池でのカヌー・サップ体験のアクティビティを実施し、夏休み期間を中心に34名催行。利用者の反応は好評だがPRが課題。

4 公園の魅力充実

共同企業体で連携し、公園の景観の維持・向上に努めた。南谷公園内に河津桜を新たに植栽したほか、あやめ池公園のイルミネーションを実施するなど魅力向上に資する取り組みを行った。あやめ池公園の地盤沈下・東郷池の湖面上昇による冠水が長期化し植栽に悪影響が出ているため、花菖蒲等の植栽の維持が年々難しくなっている。

5 公園を通じた地域交流・地域活性の促進(地域連携)

湯梨浜町の主催するスポーツ大会に協力、天女ワーク、ガストロノミーには実行委員会として参画した他、アダプト事業、町主催(地域おこし協力隊)のマルシェイベントにも会場協力した。

東郷：まれい温泉旅館組合、湯梨浜町観光協会による教育旅行の受入、花火打ち上げ等に協力
地元のマルシェ開催グループと連携し、スポーツセンター内で「ぽかぽかマルシェ」を主催
ハワイ夢田場の遊び場一般開放を実施し、夏季の猛暑を避けた遊び場の提供を試行
NPO未来のウォーキングイベント、定例会への協力、当團主催のウォーキングに広報面で協力いただいた。また東郷池メダカの会と共同で環境教育の教室、ボランティアを実施した。

6 東郷湖羽台臨海公園パークビジョン

南谷地区再整備検討委員会が県により開催され検討委員として参加。令和8年にかけての継続的な整備計画を策定、それにもなう施設の改修が実施されている。また日本海エリア(宇野・長瀬地区)のパークPFI導入の検討がなされるサウンディング調査に参加

2 入園者一覽表(年間計画、実績)

(单位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度目標(人) A	19,000	26,000	29,000	18,000	19,000	21,000	24,000	20,000	15,000	11,000	11,000	16,000	229,000
令和6年度実績(人) B	18,611	25,677	23,580	15,636	18,066	21,370	24,129	19,639	18,550	14,828	11,879	18,457	230,422
対目標比率(%) C=B/A	98.0%	98.8%	81.3%	86.9%	95.1%	101.8%	100.5%	98.2%	123.7%	134.8%	108.0%	115.4%	100.6%
令和5年度実績(人) B	23,034	27,527	32,040	23,420	24,489	24,908	32,351	26,710	26,062	18,945	20,286	26,756	306,528
令和5年度実績(新区域)	16,904	20,367	24,270	15,510	15,309	17,038	23,541	18,925	19,867	13,095	13,776	19,631	218,233
対5年度比率(%) E=B/D	80.8%	93.3%	73.6%	66.8%	73.8%	85.8%	74.6%	73.5%	71.2%	78.3%	58.6%	69.0%	75.2%
対5年度(新区域)比率(%)	110.1%	126.1%	97.2%	100.8%	118.0%	125.4%	102.5%	103.8%	93.4%	113.2%	86.2%	94.0%	105.6%

入園者の推移、増減要因

・**有料施設利用者** 81,296人(対前年105%)
 主な内訳:トレーニングルーム 27,710人(対前年122%) 内装の向上・器具充実等によりシニア層、女性客が増加。値上げによる客単価の増もあり使用料収入も増。
 南谷多目的広場(4,789人)はR4にサッカーゴールを設置し、地元チームの練習、リーグ戦の開催等で実質今年度から有料化も増加(対前年165%)
 体育館(25,484人)、テニスコート(4,222人)は1割強減 体育館はR5年度3月の大規模写真展(約3,000人)の反動。テニスコートはコート改修、猛暑の影響
 教室参加者:4,338人(対前年121%) 湯梨浜町の広報誌等での紹介の成果

・**無料の公園利用者** 149,126人(対前年106%) 天候の影響等で減少した月もあったが全般的には増傾向だった。ドッグランが増(前年比134%)、スケートパークが減(前年比72%)、あやめ池公園は冠水の影響もあり微減。イベント参加者はイルミネーション時期の悪天候、秋の健康散策ウォーキングの荒天中止により減

【 中国庭園 燕趙園 】

(主な取り組み)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度目標(人) A	4,000	8,100	6,200	7,500	12,000	4,000	6,500	6,500	4,400	2,800	2,500	5,500	70,000
令和6年度実績(人) B	3,749	8,094	6,632	6,317	13,235	5,893	5,302	4,136	4,138	4,073	1,632	4,428	67,622
対目標比率(%) C=B/A	93.7%	99.9%	107.0%	84.2%	110.3%	147.3%	81.6%	63.6%	94.0%	145.5%	65.3%	80.5%	96.6%
令和5年度実績(人) D	3,634	7,083	4,259	5,734	11,347	4,799	5,680	5,129	3,081	2,435	3,091	4,875	61,144
対5年度比率(%) E=B/D	103.2%	114.3%	155.7%	110.2%	116.6%	122.8%	93.3%	80.6%	134.3%	167.3%	52.8%	90.8%	110.6%

令和6年度事業実績報告書

1 事業概要

(主な取り組み)

梨に関する産業、歴史及び文化への県民理解を深めるとともに、観光及び果樹振興に資するための取り組みを実施。

鳥取県二十世紀梨導入120周年を記念し、地元イラストレーター書下ろしによる記念企画「二十世紀梨歴史ロマン譚」を開催。また梨の販売において記念箱の作成、館内に記念パネルの設置等を行い、鳥取二十世紀梨導入120周年のPRに取り組んだ。夏休み期間中は親子向け夏休自由研究教室を開催。また食べくらべをはじめとする入館者向け対策、ネット通販の販売増対策についても過去の反省を踏まえ、様々な策を試しながら取り組んだ。

1 魅力発信

時季を問わず、一年中3品種の梨の食べ比べができることをセールスポイントとして集客促進を行った。

HPで「本日の梨の食べくらべ」の3品種を日々表示するようHPの一部リニューアルを実施。鳥取県二十世紀梨導入120周年記念企画「二十世紀梨歴史ロマン譚」を開催。新聞折り込みについて新規の岡山県北部、兵庫県姫路エリアに実施した。その他にも、新たに電光掲示板広告(鳥取市・米子市)を実施した。

コロナ期間中に中止していた「梨の皮むき大会」を5年ぶりに開催

館内の撮影スポットとして新たにオリジナルプリントシール機を導入し、若手層やファミリー層向けの満足度向上を図った。

2 イベントの充実

毎月最終日曜日に開催する無料感謝デーを継続実施し、入館者増加及び地域貢献に努めた。

子供も楽しめるよう多様なイベントを開催し、魅力向上に取り組んだ。
梨ガーデンにおいて、梨狩りなど直接梨に触れる体験学習イベントを開催した。

地元のイラストレーターとのコラボした展示イベントを開催した。

屋内イルミネーションを実施した。

梨に関する出前講座を実施した。

3 梨農家支援の充実

「鳥取梨づくり大学」の開講を継続して専門知識の普及を図った。

「一十世紀梨導入120年記念大会」の実施。

「梨のなんでも相談室」を常設して技術専門員が対応した。

(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)

1 魅力発信

大きなアピールポイントとなっており、集客促進に寄与した。また「梨漫遊記」と題し、3品種のうちの1品種を他県の梨とした食べ比べイベントを実施(4日間)。特別編として1月上旬に氷温貯蔵した県産梨(二十世紀梨)の食べくらべを実施(2日間)、シーズン外で実施することで話題作りとなった。お客様が「本日の食べくらべ」の3品種をタイムリーに確認できるようになった。

チラシ持参で、入館料割引の特典をつけたことにより、特典を利用しての入館者が岡山県北部147人、兵庫県姫路115人あった。

5年ぶりの開催で話題となり、メディアにも取り上げてもらった。

当初の予定通り、若年層やファミリー層を中心に利用があり、来館者の満足度向上につながった。

2 イベントの充実

無料感謝デーは通年で12日開催し、15,576人の入館者(対前年276人増)となり、地域イベントとの相乗効果があり、地域に定着した日となっている。

GW、ハロウィン等にスタンプラリー、体験型ワークショップ(3,106件参加)を中心に実施し来館者の満足度向上に貢献した。

交配体験、小袋かけ、大袋かけ、梨狩り体験を実施し、ガーデンでの梨を育てる体験イベント全体で424人の参加があった。

鳥取県二十世紀梨導入120周年記念企画「二十世紀梨歴史ロマン譚」を開催し、梨の販売では記念箱の作成を行い、鳥取二十世紀梨導入120周年のPRに取り組んだ。また、初めてギャラリートークを実施し、制作者と来館者のふれあいの機会を設け楽しんでいただいた。

寒くなく、昼間に見られるイルミネーションとして実施。クリスマスまでと後でメインツリーの装飾を替え、館内の演出照明を活かしながら回廊等を装飾した。来館者アンケートでは「キレイ」との感想をたくさんいただいた。

県外からの講師依頼を受け、梨に関する出前講座を実施。

3 梨農家支援の充実

「鳥取梨つくり大学」を年12回開催、64人の入学者(内新規に31人)があり、梨生産農家や新規就農希望者に対して専門知識を普及するとともに情報交換の場を提供した。

「親木の歴史と現在」「二十世紀梨導入120年歴史を辿る」講演など、120年の歩みを振り返った。

「梨のなんでも相談室」で梨栽培の技術相談を受けることにより、梨農家等への支援に貢献した。

2 入園者一覽表(年間計画、実績)

(单位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度目標(人) A	9,000	12,000	8,000	11,000	21,000	15,000	12,000	12,000	7,000	7,000	7,000	9,000	130,000
令和6年度実績(人) B	8,599	10,917	8,419	11,878	24,437	19,394	12,816	13,499	6,818	6,332	6,066	13,460	142,635
対目標比率(%) C=B/A	95.5%	91.0%	105.2%	108.0%	116.4%	129.3%	106.8%	112.5%	97.4%	90.5%	86.7%	149.6%	109.7%
令和5年度実績(人) D	8,346	11,287	7,822	10,943	20,476	13,863	10,962	10,744	6,427	6,549	8,598	11,633	127,650
対5年度比率(%) E=B/D	103.0%	96.7%	107.6%	108.5%	119.3%	139.9%	116.9%	125.6%	106.1%	96.7%	70.6%	115.7%	111.7%

入館者の推移、増減要因

【推移】

・月単位では年間のうち9カ月が前年を上回り、年間で142,635人の入館者となり、前年比では14,985人の増(111.7%)となった。

【要因】

・観光需要は増加傾向で、個人客(個人利用、小団体利用)が大幅に増加した(対前年11,193人増)。

・コロナ禍で極端に減少していた外国人観光客も10,769人と回復傾向で、対前年では2,168人の増となった。

令和6年度事業実績報告書
【夢みなとタワー】

1 事業概要

(主な取り組み)

1 地域との連携と観光振興

春休みの大型イベントについて、初めて山陰放送と共催して「昆虫最強王図鑑展」を開催。
日本海新聞との夏の連携イベントとして「サマーアクアリウム」を開催。
地域のこどもの遊び場として、貸館予約がない日の多目的ホールを無料開放。
地域団体のイベントを支援し、「にゃんにゃんフェスタ」「遊ぼうデー」の他に複数のマルシェイベントを共催。
夢みなと公園まつり実行委員会の一員として春・夏に「公園まつり」を開催。

2 施設の魅力アップへの積極投資

計画的な外観修繕「タワー若返りプロジェクト」に基づき、各所カーペットの張替え、ベンチの張替えを実施。
修繕や備品購入等も積極的に実施。

3 新規開業店舗の運営支援

新規の免税店「DIA PLUS」の開業支援
ソフトクリームショップ「みなとCUBE」の開業支援。

4 業務効率化、人材育成

料金体系をシンプルに見直したことや券売機の活用などで省力化を目指す。
空き時間を利用してwebセミナーなどを積極的に受講させ、スキルアップを図る。

(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)

1 地域との連携と観光振興

春の「昆虫最強王図鑑展」では初の山陰放送との共催となったが、タワーのノウハウも提供し円滑な運営ができた。

来場者数としては、計画を上回ったが、前年を下回ることとなった。

夏の「サマーアクアリウム」では、特に島根県からの集客が増えH25年以来となる6万人を超える来場があった。

多目的ホールの無料解放は地域の子育て家庭に定着したほか、放課後デイサービスや保育園の遠足など、団体での利用も増えてきた。

定着してきた「にゃんにゃんフェスタ」に加え、初開催の団体によるマルシェも複数実施。多くの来場があった。

クイズ&スタンプラリー、こども縁日を開催し、夢みなと公園一帯への集客や周遊を促す効果があった。

2 施設の魅力アップへの積極投資

館内各所のタイルカーペット、ロールカーペットの張替えを実施し、特に企画展示室利用者からは喜ばれている。破れ、汚れが目立っていたエントランスロビーのベンチも新しくなり、館内が明るくなった。無料解放時に貸し出す遊具や、貸館用のプロジェクトなどを更新し、魅力アップや利便性の向上につながっている。

3 新規開業店舗の運営支援

オープニングイベントを連携して行ったほか、団体ツアーの来館に合わせて営業時間の延長、休館日対応にも協力し、多くのインバウンド客を集めている。

ソフトクリームショップの営業のための設備や什器の更新を行い、7月から開業を行うことができた。

4 業務効率化、人材育成

貸館の空調代や備品代を無料としたことで貸館業務が大幅に省力化できた。また小団体や外国人料金の廃止によりチケット種類なども大幅に減り、毎月の在庫管理も楽になった。

厚労省の人材開発助成金を活用して、広報マーケティングのサブスクセミナーを集中して受講することができた。

2 入園者一覽表(年間計画、実績)

(单位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度目標(人) A	10,000	10,000	6,000	15,000	26,500	5,500	6,000	7,000	6,000	3,000	4,000	11,000	110,000
令和6年度実績(人) B	11,215	9,534	4,842	25,349	42,755	5,357	4,834	3,731	5,694	4,307	3,326	14,106	135,050
対目標比率(%) C=B/A	112.2%	95.3%	80.7%	169.0%	161.3%	97.4%	80.6%	53.3%	94.9%	143.6%	83.2%	128.2%	122.8%
令和5年度実績(人) D	16,783	12,312	4,534	16,113	32,752	4,742	3,927	6,904	6,162	2,273	3,976	11,920	122,398
対令和5年度比率(%) E=B/D	66.8%	77.4%	106.8%	157.3%	130.5%	113.0%	123.1%	54.0%	92.4%	189.5%	83.7%	118.3%	110.3%

入館者の推移、増減要因

【対目標比】122.8% 【対前年比】110.3%
昨春の大型イベント(昆虫最強王図鑑展)は前年のダンホー・ル遊園地よりも計画人数も低かったため低調な滑り出しであったが、夏の大型イベント(サマーアクアリウム)が平成25年以來の6万超という大成功を収め、好調だった前年の光の切り絵展を2万人上回ることができた。3月からの大型イベントは前年3月昆虫展→当年度3月ダンホー・ル遊園地の開催のイベントの連発で2000人増となり、最終的には13.5万人となった。

令和6年度事業実績報告書
【とっとり花回廊】

1 事業概要

(主な取り組み)

1 植栽

開園25周年を迎えた令和6年度は、「Enjoy～咲き誇る花たちと一緒に楽しもう!～」をテーマに、25本のローズとケーキに見立てた展示で来園者に楽しんでもらった。初夏は、花回廊オリジナルクレマチスの展示や、県が育種したユリの新品種「鳥鱗1号」を展示した。また県内産切り花を用いて10月はシンテップウリとアスター、11月はストックの切り花展を開催した。鳥根大学作出の長期開花期ツツジや(一財)春めき財団の芳香性サクラ「春めき」の植栽を行い、各団体と連携しつつ新たな見どころ創出を行った。

2 催事

4月は開園25周年記念式典や大感謝祭を開催し、新たな遊び場「モリノミツキチ」をオープンした。夏休み期間は小中学生を入園無料とし、宿題応援メニューと称して自由研究に役立つ観察会などを企画し、日中の酷暑を避け夜間営業日に複数のイベントを実施した。9月には「きのこワンダーランド」を初開催。県立博物館などの協力のもと、様々な標本や解説パネルを展示した。

フラワーイルミネーションは米子高専との共同研究に取り組み、AIを取り入れたイルミネーションで美しさと楽しさを演出した。和紙あかりスポットを新設し、イルミネーションとは異なる幻想的な演出をした。

地元団体等による駐車場でのイベント開催に協力し、バイクのファンミーティング、農機具展示会などの利用があった。また、7月には地元テレビ局との共催で「とっとり花火回廊」を初開催した。

3 広報

春やイルミネーションの時期にはTVCMの実施や番組誘致、新聞折込チラシを中心にイベント告知や花のみどころ情報の発信に努めた。またウェブのバナー広告や配信記事の実施など、多様な方法でPRに取り組んだ。新聞無購読世帯やデジタル活用世代に対して、専任のスタッフを中心にホームページやSNS発信、またWEB広告によるアプローチを行い、新規顧客層の獲得に努めた。

4 營業

回復が見込まれる外国人観光客受入れのため、セミナー参加やFAMツアー等関係者の視察対応のほか、関係団体と誘客活動を行った。7月に韓国、8月に台湾、10月に香港での商談会に参加した。

5 交流事業

南部町が実施する二十歳の集いや誕生祝い事業など各種企画に協力した。また、広島マツダスタジアムや食バラダイス鳥取県！まんぶくフェス、福山雅治WE'RE BROS. TOUR 2024@に牛骨ラーメンを出店し魅力発信を行った。阪神競馬場の米子城ステークス観光・物産展に参加し、観光PRと特産品販売を行った。松江市およびJAと連携し、大根島牡丹の特設販売を実施した。

包括連携協定を締結している米子高専とは、県内間伐材のベンチの寄贈、イルミネーションの共同研究、デジタル教室開催など様々な分野で連携を図った。

所属する日本植物園協会の2026年大会の開催地が鳥取県となった。またコロナ禍で途絶えていた牧野植物園、淡路夢舞台公苑温室との三園交流について12月に意見交換会を行った。

6 売店・レストラン・屋台

レストランは季節イベントとタイアップした特別メニューや累計入園者1000万人記念ランチを提供。また、会員限定ツアーで、新作スイーツのモニタリングを行った。売店は25周年記念のオリジナル商品の開発に取り組み、特設コーナーで販売した。また、大感謝祭では園芸資材等の特別販売も実施した。

(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)

1 植栽

年間テーマに沿って県内産の花壇苗を植栽し季節ごとに移りかわる花々の彩りの瞬間を五感で楽しみ、お客様の思い出に残るような展示を実施した。

花の丘、ヨーロッパガーデンなどにおいて連作障害による生育不良が発生しており、土壌改良に取り組むとともに、令和7年度からは鳥取大学と連携して、原因、対策の究明を図る。

2 催事

新たな試みとしてきのこワンダーランドや多肉パラダイスなど様々なイベントや展示会を実施し、新規顧客の開拓に取り組むとともに花き振興に貢献することができた。

イルミネーション期間中に約59,700名の来園があり、AIを取り入れた音声認識で色が変わる西館テラスのアイアンツリーやヨーロッパンガーデンステージを中心に来園者の評価が高かった。

様々なイベントの開催に協力し、花回廊のPR及び集客につなげた。とっとり花回廊では県内外から多くの参加者があり、7月としてはこの10年で最も多い入園者数となった。

3 広報

繁忙期の春や冬のイルミネーションにあわせてTVCMなど積極的に宣伝活動に取り組んだことが誘客につながった。新たな取組みとしてTVの見逃し配信(TVer広告)への広告出稿やSNSを有効活用し若年層の誘客を図った。

4 營業

営業活動によりインバウンド客は2年連続で1万人を超え前年度比111.2%と増加した。

5 交流事業

地域連携として南部町や地元企業と様々なイベントに取り組み地域の活性化に寄与した。今後も様々な形で圏外への出店活動を継続し地域との交流を図っていく。

イルミネーションの共同研究では研究に参加した学生が取材されるなどマスコミにも多く取り上げられ集客とともにPR効果もあった。毎年恒例となっているベンチ寄贈は総数が100基を超え、散策する来園者に憩いの場を提供し、花回廊の風物詩となっている。

植物園協会の大会開催に向け、県と連携して計画、準備に取り組む。三園交流では継続して交流を図ることを確認し、今後も情報交換や相互交流に取り組んでいく。

6 売店・レストラン・屋台

レストランや屋台では季節ごとでメニューに変化を持たせ、イベントとの一体感を演出した。今後もメニューの見直しやオペレーションの改善を図り、利用率の向上を目指す。

2 入園者一覽表(年間計画、実績)

(单位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度目標(人) A	47,800	56,200	24,000	11,500	18,600	15,300	23,900	37,000	36,300	18,400	5,000	21,000	315,000
令和6年度実績(人) B	40,422	42,216	17,721	15,200	9,458	11,465	21,323	25,826	30,581	15,255	3,229	13,111	245,807
対目標比率(%) C=B/A	84.6%	75.1%	73.8%	132.2%	50.9%	74.9%	89.2%	69.8%	84.3%	82.9%	64.6%	62.4%	78.0%
令和5年度実績(人) D	35,248	43,960	20,420	10,045	14,356	15,036	23,925	24,929	37,212	12,227	5,743	14,841	257,942
対5年度比率(%) E=B/D	114.7%	96.0%	86.8%	151.3%	65.9%	76.3%	89.1%	103.6%	82.2%	124.8%	56.2%	88.3%	95.3%

入園者の推移、増減要因

【対目標比】78.0% 【対前年比】95.3%

目標入園者数に対して7月を除き未達となった

初開催の花火回廊の効果で大きく増加したが、8月はなんぶ町民花火大会が中止となり減少した。9月は長引く残暑の影響で前年を下回った。10月は多肉植物の販売会を開催し当日は賑わったが月全体では減少。11月はイルミの開始により夜間営業日数は昨年より増加したが、昨年が不調だったため微増。12月は天候不順の日が多く減少。

1月は昨年度に比べ、12月からの降雪が少なかったこと、11月のイルミの開始スケジュールにより夜間営業日数は昨年より減少したが、昨年の不調が回復したため微増。2月は天候不順の日が多く減少。3月は肌寒い日が多く、早朝の冷え込みが厳しかったこと、イルミ期間が後半に伸びたこと、前年を上回った。4月は2度の記録的な大雪があり、客足が遠のいた。5月は桜の開花が遅れたこと、イルミ期間が前年を下回った。

一般財団法人鳥取県観光事業団 給与等状況報告書

1 職員給与の状況（令和6年度）

職員数	給 与 費			
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計
52 人	166,270 千円	35,174 千円	65,063 千円	266,507 千円

（注）職員手当は、退職手当、期末手当及び勤勉手当を含みません。

2 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況（令和7年4月1日現在）

一般職		
平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
293,158 円	341,683 円	42.0 歳

（注） 1 「平均給料月額」は扶養手当等の職員手当を含まない給料のみの平均月額です。
2 「平均給与月額」は、給料月額と毎月支払われる手当（期末手当、勤勉手当及び退職手当以外の手当）とを合計したものの平均月額です。

3 職員の初任給の状況（令和7年4月1日現在）

区 分		初 任 給	備 考
一般職	大学卒	220,300 円	
	高校卒	194,800 円	

4 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和7年4月1日現在）

区 分	経験年数	5 年	10年	20年	30年	備考
一般職	大学卒	243,000 円	－ 円	－ 円	－ 円	
	高校卒	－ 円	－ 円	－ 円	－ 円	

参考
8年 平均給与月額 256,800円
19年 平均給与月額 319,400円
29年 平均給与月額 394,100円

5 職員手当の状況（令和7年4月1日現在）			
区 分	内 訳		
期末手当 勤勉手当	〔支給割合〕		
	区 分	期末手当	勤勉手当
	6 月期	1.00 月分	0.70 月分
	12月期	1.00 月分	0.70 月分
	計	2.00 月分	1.40 月分
	注 通常時の掛け率を記載		
退職手当 （県の規定に準ずる）	職制上の段階、職務の 級等による加算措置 有		
	〔令和6年度実績〕		
	支給総額	支給職員数	1人当たり平均支給額
	65,063,860 円	52 人	1,251,228 円
	〔支給率〕		
	区 分	自己都合	勸奨・定年
時間外勤務手当	勤続 20 年	19.6695 月分	24.586875 月分
	勤続 25 年	28.0395 月分	33.270750 月分
	勤続 35 年	39.7575 月分	47.709000 月分
	勤続 40 年	44.7795 月分	47.709000 月分
	（その他の加算措置）		
	定年前早期退職特例措置（ 2 %～ 2 0 %加算）		
年末年始手当 12/31～1/2の間に 勤務を命じられた 職員	25年以上勤続した年齢50歳以上の職員が、定年前勸奨等により 退職する場合に加算があります。		
	〔令和6年度実績〕		
	支給総額	支給職員数	1人当たり平均支給年額
	7,004,907 円	42 人	166,784 円
	（注）1 （ ）内は、勸奨、定年及び早期退職制度による退職者への 支給実績を再掲したものです。		
	2 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和6年度に退職した 一般職員に支給された平均額です。		
その勤務1日につき 2,000円（半日につき1,000円）	〔令和6年度実績〕		
	支給総額	支給職員数	1人当たり平均支給年額
	94,000 円	24 人	3,917 円

区分	内 容			
	対象職員	支 給 月 額		
管理職手当	一定の管理または監督の地位にある職員	給料表、職務の級、手当区分に応じて定額を支給		
		本部長、園長、館長、総括副園（館）長	50,000 円	
		次長、副園長（とっとり花回廊に限る）	40,000 円	
		副園長（とっとり花回廊を除く）、副館長、部長、参事、次長（青谷かみじち史跡公園に限る）	30,000 円	
		シニアマネージャー	20,000 円	
		〔令和 6 年度実績〕		
		支給総額	支給職員数	1 人当たり 平均支給月額
		8,160,000 円	17 人	40,000 円
扶養手当 （県の規定に準ずる）	扶養親族として配偶者、子等を有する職員	ア 配偶者		3,000 円
		イ 父母等		6,500 円
		ウ 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子		11,500 円
		15歳に達する日以後の最初の 4 月 1 日から 22歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日まで		1 人につき 5,000 円を加算
		〔令和 6 年度実績〕		
		支給総額	支給職員数	1 人当たり 平均支給月額
		6,210,500 円	25 人	20,702 円
住居手当 （県の規定に準ずる）	住宅を借り受け月額12,000円を超える家賃を支払っている職員	ア 借家・借間居住者		家賃の額に応じ、 最高 27,000 円まで支給
		イ 単身赴任手当受給者で配偶者に居住させるため借家・借間を借り受けている者		借家・借間居住者の例によった場合の額の 2 分の 1 相当額
		〔令和 6 年度実績〕		
		支給総額	支給職員数	1 人当たり 平均支給月額
		5,814,700 円	22 人	22,025 円

区分	内 容			
	対象職員	支 給 月 額		
通勤手当 (県の規定に 準ずる)	交通機関等を利用し、または自動車等を使用して通勤している職員	ア 交通機関等利用者	次の①または②のうち、支給単位期間当たりの額が低い方の額。 ①支給単位期間の間通用する定期券の額 ②通勤21回分の回数券の額 ＜最高限度額 150,000 円＞	
		イ 自動車等使用者	通勤距離に応じ、月額 1,700 円 から 53,100 円の範囲内で支給	
		ウ 特別急行列車等 利用	1 か月の特別急行料金等の額に相当する額（高速自動車国道等特別料金等の額に相当する額）	
		エ 駐車料金を負担している場合 (パークアンドライド)	公共交通機関等及び自動車等に係る通勤手当をともに受けている職員が、公共交通機関の利用に伴って駐車場を利用し、駐車料金を負担することを常例としている場合に、当該駐車料金に相当する額を支給 (1 ヶ月あたり 3,000 円を上限とする。)	
		〔令和 6 年度実績〕		
		支給総額	支給職員数	1 人当たり 平均支給月額
		7,890,000 円	51 人	12,892 円
単身赴任手当 (県の規定に 準ずる)	異動等を原因として単身赴任となった職員	月額 30,000円＋加算額 〔加算額〕 職員の住居と配偶者の住居の交通距離に応じて、8,000円から70,000円までの範囲で定める額。ただし、100キロメートル未満の場合は加算はなし		
		〔令和 6 年度実績〕 なし		
宿日直手当	宿日直勤務を命じられた職員	その勤務 1 回につき 4,400円 〔令和 6 年度実績〕 なし		

6 役員の報酬等の状況（令和7年4月1日現在）			
区 分	報酬月額	期末手当	備 考
理 事 長	340,000 円	6月期 1.70 月分 12月期 1.70 月分	加算率45%
評議員	1日につき20,000 円		理事会出席時は1日につき、20,000円
非常勤理事	1日につき20,000 円		
非常勤監事	1日につき30,000 円		
〔令和6年度実績〕			
①常勤役員			
支給総額	支給者数	1人当たり 平均支給月額 (期末手当等を含む)	
5,756,200 円	1 人	479,683 円	
②非常勤役員			
支給総額	支給者数	1人当たり 平均支給月額	
900,000 円	10 人	7,500 円	